



しんねん あいさつ
新年のご挨拶

あげおしこくさいこうりゅうきょうかいかいちょう せきもと まさひろ
上尾市国際交流協会会長 関本 正弘

会員の皆様 あけましておめでとうございます。明るく希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年を振り返ってみますと、ワールドフェアを始め、日本語教室、国際交流パーティー、お母さんの会、料理教室等、順調に推移し、バスツアーのように参加希望者が少ないため、急きよ中止した行事もありましたが、おおむね所期の目的を達することができました。お忙しい中、時間を割いて活動に参加していただいた会員の皆さんに、心から御礼申し上げます。



上尾市と合同で、外国人の子どもたちに対する日本語支援体制の確立をめざす「AGA子ども教室プロジェクト」をスタートさせ、2年が経過しようとしています。(上尾市協働のまちづくり推進事業)。4月から順調に進展し、8月の夏休みには、5日間連続して教室を開講することができました。

休み中の教室は、出席状況も良く、楽しい教室として大きな成果が得られたものと思われま

す。来年度の子ども教室は、今までより一回増やし、4月から国際交流協会単独の事業として月3回開講することが決まっています。この教室を充実させ、一人でも多くの外国人の子どもが心を寄せてくれるような、温かい教室として確立したいと思います。皆さんのお力添えをお願いいたします。

上尾市においても、外国籍の人たちは今後ますます増加するものと思われま

す。外国籍の人から、上尾に来てよかったといってもらえるような諸活動を、会員の皆さんと共に進めていきたいと思

います。最後になりましたが、会員皆様のご健勝をお祈りいたしますと共に、今後とも、変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

◇ おいでください！ ◇

●外国籍市民の「日本語教室」3学期受講生・日本語ボランティアの募集

① 火曜教室 (日本語ボランティアによるマンツーマン形式)

日時：1月7日～3月10日 (2月11日・25日を除く) の毎週火曜日 (全10回) 午前10時～11時30分

場所：コミュニティセンター 2F 視聴覚室

② 水曜教室 (日本語ボランティアによるマンツーマン形式)

日時：1月8日～3月11日の毎週水曜日 (全10回) 午後7時～8時30分

場所：上尾公民館501室 (文化センター内)

申込～②共通】▼受講料 1,000円

(国際交流協会会員は無料)

●1月の多文化子育てお母さんの会

日時：1月17日 (金) 10:00～11:30

場所：上尾市コミュニティーセンター 1F 子ども室 参加費：親子で会員100円 / 一般200円

● AGA サロン 国際井戸端会議

日本の不思議、世界の不思議を再発見しよう！」をテーマに、いろいろな国籍の人々とおしゃべりをしながら交流をしましょう。外国人市民や渡航歴のある日本人の参加も大歓迎！

日時： 1月19日（日）14:00～16:00

場所： 上尾市文化センター501

参加費： 会員100円 / 一般200円 。 詳しくはチラシをご覧ください。

エスディージーズ

● SDGsってなんですか？

頻発する想定外の災害、世界中で繰り返される紛争、格差の広がり、世界で、日本で、様々な問題が起きています。このままでは地球が大変！と2015年国連で採択されたのが、SDGs（持続可能な開発目標）です。2030年に向けて、世界のみんなが目指す地球の未来に向けた17の目標です。

まずはみんなで、SDGsについて知り、私たち上尾市国際交流協会として、より良い未来のために何ができるのか一緒に考える時間を持ちたいと思います。

日時： 1月26日（日）14:00～16:00

場所： 上尾市コミュニティセンター第二集会室

参加費： 無料。 詳しくはチラシをご覧ください。

◇ AGA トピックス ◇

令和元年度第20回あげおヒューマンライツミーティング 21 に参加

外国人市民からのメッセージ ～国籍や文化の壁を乗り越えて共に生きる～

12月7日、上尾市コミュニティセンターで上尾市主催あげおヒューマンライツミーティング 21 が開催され、AGA分科会において3名の外国人市民によるミニ講演会が開催され、大盛況のうちに終了しました。

ゲストスピーカーの一人、タイ出身の白草ケーオチャイさんは日本に来た当時、文化、習慣の違いで驚いたことについて語っていただきました。「朝の電車内のラッシュアワーに遭遇したこと」、「日本の若者ファッションで学生の髪がワックスで固めてヘアカラーもピンクや金髪でカラフルでまるで異星人のように見えたこと」、「タイでは食事をするときは音を立ててはいけないのに、日本ではズーズー音を立ててラーメンを食べていること」、「タイ料理店員のアルバイトをしていた時、お客様から「いいです。」と返事があったので、料理を運んで行ったら、「これは頼んでいない。」と言われました。いいですよと言ったのは、要らないという意味であることが分かり、日本語はとても分かりにくいと思ったこと」、「日本では売られている和菓子は1個ずつ包装され、乾燥剤も1個ずつ入っており、お菓子をいつも美味しく保つため幾重にも包装されている。包装をきれいにしているのは解かるが、包装に使われているビニールやプラスチックが多すぎて出るゴミの量が多いのは環境に良くないと思いつつ、これが日本の文化習慣だと受け入れて生活していること」などでした。

中米ホンジュラス出身の野村エリーナさんは、日本に来た当時は、日本の文化、言葉も知らず、夫以外の知り合いはおらず、全くのゼロからのスタートであったが、市役所に相談してスペイン語教室を開いたことがきっかけとなり、人と触れ合う機会が増え友人ができ、そこでできた友人から日本の文化習慣や言葉、料理、子育てについてたくさんのお話を教えてもらったこと、その後、市での国際交流活動にも誘われ参加することになり、その活動では、さらに日本の文化、言葉を学ぶ機会になり、日本での生活が大きく膨らんだこと、そして、スペイン語教室を通じて知り合った友人やご近所の方々から子供の面倒をみてくれたり、遊んでくれたり、親切にしてくれて、本当に助けられた。身の廻りに、このような理解のあるやさしい方々に恵まれたことが幸運だったと語られました。また、国の違う人たちが日本でどうやって上手に暮らし

ていくかのヒントが紹介され、その一つ目は、日本が第二の故郷になる覚悟を持つこと、身の廻りの人と積極的に関わること、身の廻りの人に感謝の気持ちを持ち、日本の文化や習慣を積極的に学ぶことが大切であること。二つ目は、地域交流に積極的に参加して外国人への関心を持ってくれる人を大切にして欲しい。とのメッセージがありました。

フィリピン出身の新保グレースさんは、日本に来て一番困ったことは、言葉であることを語っていただきました。日本に来る前には日本人とは英語がしゃべれることができたが、日本に来てみると英語が通じないことがわかったこと、言葉が解らなかつたため、スーパーでは、塩と砂糖の見分け方がわからなかつたことや夫が外国出張で家庭を留守にすることが多く、子育てに苦労したことなどが紹介されました。日本語が読めない、書けない状態であったので、子供が小学生になったころには、PTAに参加したことで学校の先生との話し合う機会が多くなり、日本の子供の教育のことが解かるようになったことやその後上尾市国際交流協会の日本語教室で日本語を勉強したことを紹介し、外国人と日本人との交流が必要であることを語られました。このほか、日本の暮らしは、時間で行動しなければならないことに触れ、時間による生活行動からくるストレス解消の場として毎週日曜日に教会へ行っている。フィリピンでは、バス停はなく、どこでも乗り降りすることができ、時間を気にすることはなく生活することができるので、娘は、時間による生活習慣に馴染めず、言葉の不自由さから回避できるフィリピンで暮らしている、と話されました。日本では当たり前になっている「時間」を守らなければならない生活習慣によりやく慣れてきたこと、現在は、外国人の法律相談通訳、外国人への相談、新しくフィリピンから日本に来て何もわからない人たちの相談やサポートをしているが、そうしたことを通じて、挨拶のマナー、日本の文化を学ぶこと、時間を守ることを勧めていきたいとのメッセージがありました。

外国人市民が増えていくことに伴い、外国人市民が日本で暮らすうえで、「ことばの壁」、「制度の壁」、「こころの壁」の三つの壁があるとされており、多文化共生を進めるうえで、これらの壁について解決すべき課題がありますが、日本人市民と外国人市民の双方が共に社会を担うパートナーとしてお互いを理解し尊重し合うことが必要なのではないだろうか。



にほんご教室日記 第100回

教室スタッフのボランティアさんが普段、考えていることや受講生の様子などをお知らせしています。

●あけましておめでとうございます。

12月上旬から日本語教室は、2学期末の休みに入りました。3学期は1月7日、8日からはじまります。この間教室の活動はないのですが、若い受講生が表彰されるなどの活躍がありましたので紹介したいと思います。

水曜教室在籍のPさんは、来日2年目、現在中学2年生です。日本に来る前は、友達もたくさんいて、勉強も良くでき、自分に自信があっただけに、中学校の勉強がわからず、友達もできないことに、とてもショックを受けたようです。しだいに学校へは行かなくなりました。休んでいる間(約2か月)に日本語指導の先生やボランティアの指導によって、しだいに言葉がわかるようになり、学校へいったら、半分くらい聞き取りができるようになりました。その後、いろいろな友達とかかわり、今では日本語や日本文化が好きになったそうです。

これらの内容を、市教育委員会が募集した「人権作文」に応募し、中学生の部で最優秀賞を獲得しました。12月7日の上尾市主催「ヒューマンライツミーティング」にて、教育長より表彰され、ホールでたくさんの聴衆を前に作文を朗読しました。「日本語や日本文化を学んだことを生かし、世界中の困っている人を助ける仕事をしたい」と作文の最後を締めくくっています。Pさんは、来日2年あまりですが、わずかな期間で習得した日本語作文と朗読は、とても素晴らしいものでした。

なおこの日、AGA国際交流協会ブース(会場は視聴覚教室)では、火曜教室のSさんが、日本に来てから感じたことなどを発表しました。

もう一つは、外国人子ども教室に在籍する小学生二人(7歳、8歳)の活躍です。

11月30日、大宮ソニックシティーで、小学生たちが将来の夢について発表するという行事がありました。埼玉県主催の「小学生夢プラン発表会」です。この舞台上でガーナ出身の姉妹が将来の夢について発表しました。上記Pさんと同じく、日本語がわからないため友達とも話せず、授業もわからず、とても悲しい思いをしたことから、「私たちの夢は、日本語のわからない子どもたちのために、日本の文化や言葉を教える学校を作ることです。」とはっきりした口調で発表しました。最後の「ご清聴ありがとうございました」は、会場から笑顔がこぼれ、笑い声がきこえるほど、とてもほほえましい発表となりました。

編集後記

新しい一年を、また迎えることができることをうれしく思います。AGAにかかわる皆さんにとってステキな一年になるようにと、心からお祈りいたします。年は変わっても、AGA事業としては2019年度事業を実施中です。4月までの時間は、SDGs(持続可能な開発)を理解することをテーマに担当活動を実施しようと考えています。SDGs(持続可能な開発)とは、全世界で取り決めた17の目標と169の行動で構成されたもので、テレビや雑誌などでも目にする機会が増えました。とはいえ、自分自身さえも、きちんと理解していないし、人へ伝えるまでの知識も不足していると感じています。そこで、1月26日と3月29日には、AGAでSDGsを理解し、人へ話をするができるようになる講座を開催する予定です。特に3月は、外部講師をお招きして、カードゲームを通して、SDGsを理解する楽しい機会になるはずです。ご都合をつけて、ご参加いただければ幸いです。(み)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
		○にほんご教室 10:00～11:30 コミュニティセンター 2F	○にほんご教室 19:00～20:30 上尾市文化センター 501			
12	13	14	15	16	17	18
		○にほんご教室 10:00～11:30 コミュニティセンター 2F	○にほんご教室 19:00～20:30 上尾市文化センター 501	●理事会 18:30～ 市役所 401 会議室	☆多文化子育て お母さんの会 10:00～11:30 コミュニティセンター1F 子ども室	
19	20	21	22	23	24	25
○AGA サロン 国際井戸端会議 14:00～16:00 上尾市文化センター 501		○にほんご教室 10:00～11:30 コミュニティセンター 2F	○にほんご教室 19:00～20:30 上尾市文化センター 501			
26	27	28	29	30	31	
○SDGsってなんです か？ 14:00～16:00 コミュニティセンター 第二集会室		○にほんご教室 10:00～11:30 コミュニティセンター 2F	○にほんご教室 19:00～20:30 上尾市文化センター 501			

じむきよく がつ にち がつ か ねんまつねんし きゅうぎょう
事務局は、12月28日～1月5日まで年末年始の休業とさせていただきます。

じむきよく しやくしよだい
※AGA事務局は、市役所第3
べっかん かい しやくしよほんちようしゃむ
別館1階（市役所本庁舎向かい
がわ
側のビル）

しゅっせん げつ もく
スタッフの出勤は、月・木・
きん
金の10:00～16:00です。



AGA Letter 第117号 2020年1月1日発行

発行責任者：関本 正弘

編集：AGA事務局

発行：上尾市国際交流協会

〒362-8501 上尾市本町3-1-1 上尾市役所別館1F

TEL: 780-2468 (直通) / Fax: 775-0007

E-Mail: office@aga-world.com